

"ページ on ポート" なMIDIプロセッサー

## **MIXReciepe**

各ページ紹介

@SynthTAROU
Java+JNI(Win10)
GNU GPLv3
2010 ?~ 2023-12~

"ページonポート" をご説明します。

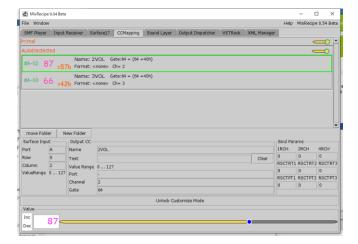
MIDIメッセージを、

入力デバイスからポートにアサイン。

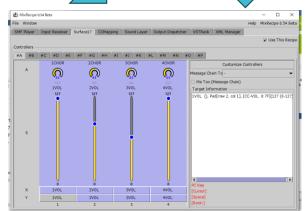
直列につながれたいくつかのページで ポート単位で、処理します。 (次のページ→次のページ)

最後にポートにアサインされた、出力 デバイスへ送信します。









**Define Surface** 





And Next...

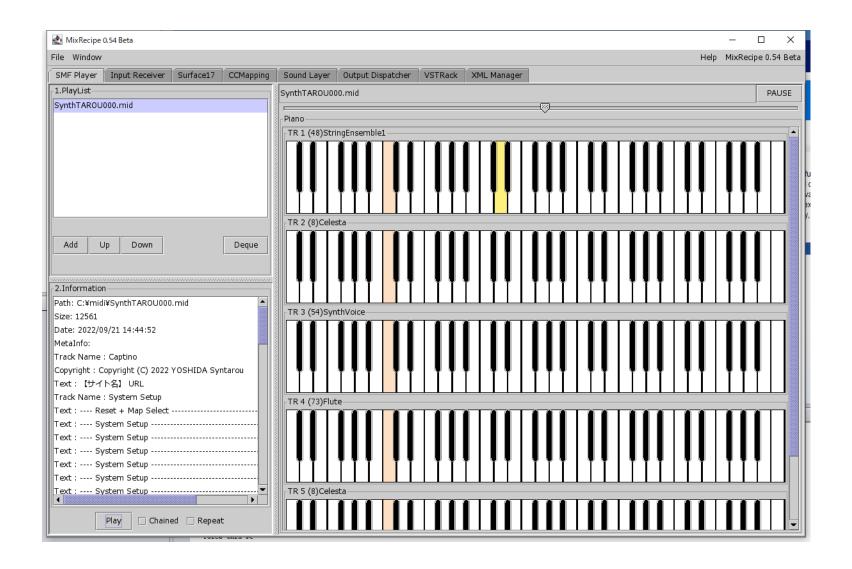
# Page#1 "SMF Player"

「SMFファイルプレイヤー」

プレイリストの曲を、ピアノを表示しながら、再生します。

PLAY、PAUSEの操作を行えます。 Chained、Repeatも設定可能です。 (ワンクリック)

同じファイルを複数回、リストに載せることも、可能です。



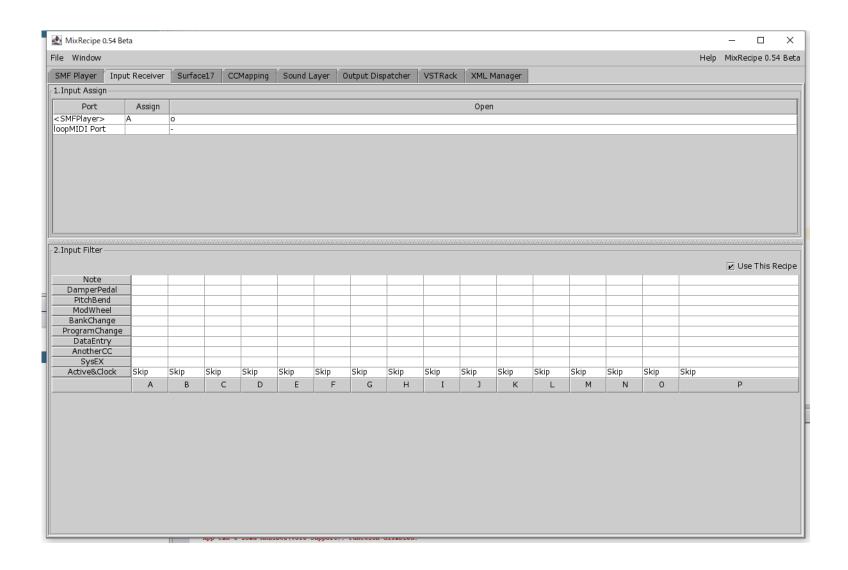
# Page#2 "Input Receiver"

「入力デバイスのポートアサイン」

複数アサインでき、キーボードはポートA+B、MIDIコンはポートB+C、ということも可能です。

UWPのBluetoothMIDIも、UWP がロードしているものは表示されます。

SMFプレイヤーは、初期ポートAです。

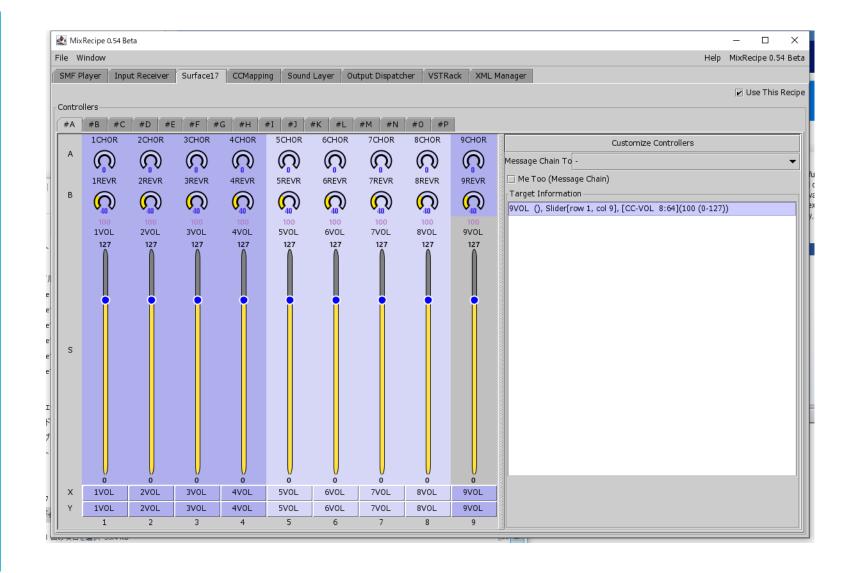


## Page#3 "Surface"

「MIDIコントローラを読み取る」

スライダーとノブの値は次ページ、 CCMappingからマッピングできます。

パッドは、CC、スライダー操作、プログラムチェンジ、ノート送信、SMF再生、としても処理できます。トリガーは、ノート番号だけではなく、たとえば、スライダーMAXのときにダンパーをトグルするなど、高度設定も行えます。

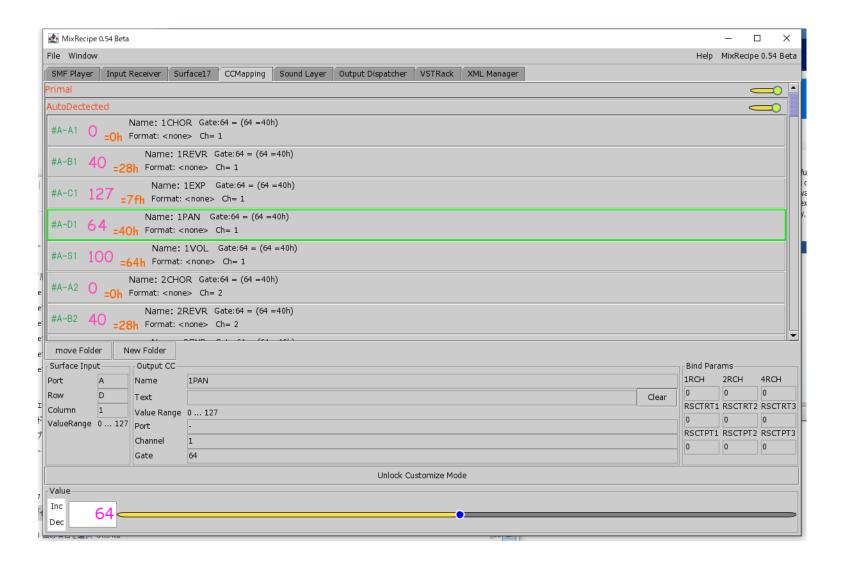


## Page#4 "CCMapping"

「前ページの、スライダー、ノブを、 CC,SysEXなどにマッピング」

"たかばー"様の公開されている Dominoで使われている定義ファイル を、一番右のページでロードしておいて、 そちらを、そのまま使わせていただきます。

7ビットと14ビットの交換も可能です。(Min, Maxの幅を、再計算)

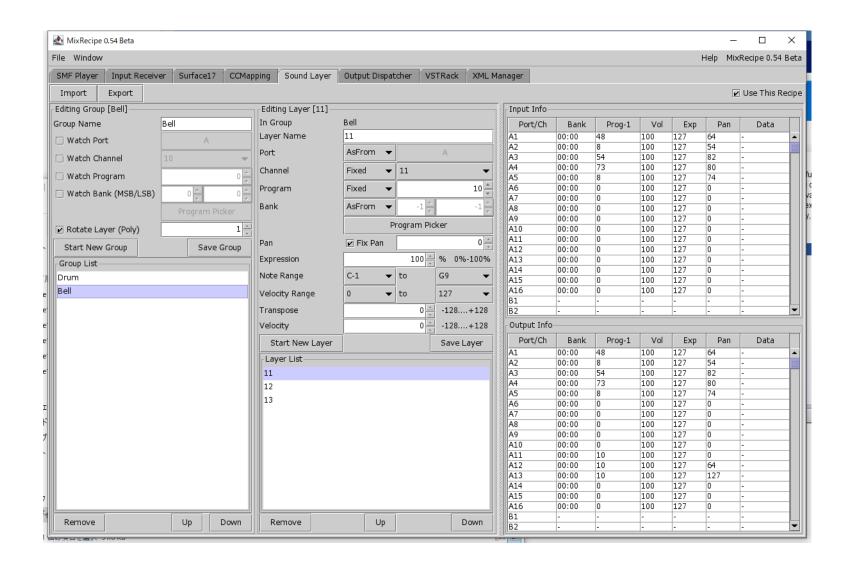


## Page#5 "Sound Layer"

「Watch対象のメッセージを変形」

PG0をWatchしたら、ピアノVSTとつなげてしまう。などなど設定します。 SMF再生時に、一部のプログラムやチャンネルだけを、あるVSTiにパッチングするという目的でつくられました。

おまけで、レイヤーや、Monoシンセ への分散ができます。そして、対象とす るVelocityやNoteも選べます。

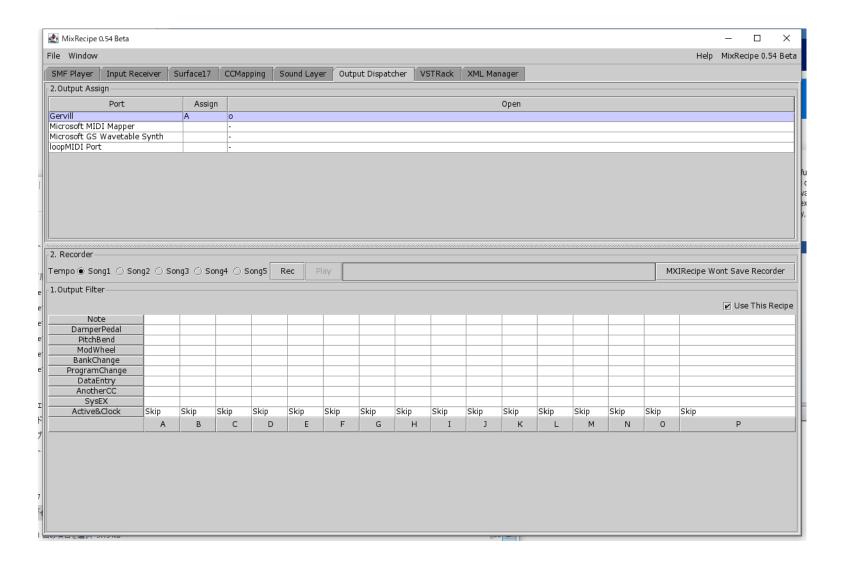


### Page#6 "OutputDispatcher"

#### 「出力先へのディスパッチャー」

ポートごとのMIDIメッセージを、出力 デバイスに振りわけます。単純な例とし て、DX7+Matrix+DAWへ、という 指定も可能で、Input画面と組み合 わせ、Matrixにはプログラムチェンジを おくらない、なども可能です。

VSTiや、Bluetoothもロードされていれば、ここに表示されます。

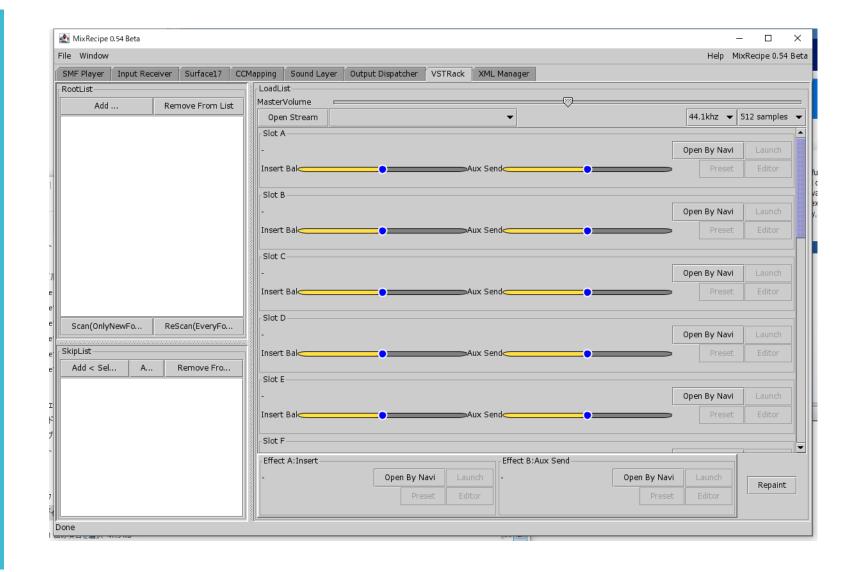


### Page#7 "VST Rack"

「Windows環境でVSTiを」 ポートにアサイン可能にします。

まだまだ、問題があり、

- ASIO4AIIは100%クラッシュ。
- Wavesはなぜかモノラルに。
- ・UIを1度しか開けないVSTも。
- ・不安定なVSTはSkipListに。



## Page#8 "XML Manager"

「Domino用XMLの読み取り」

たかぼー様の"Domino"で使われている、定義ファイルを登録します。

ここに登録されたものは、アプリで使用可能です。

サブ画面の編集機能は、一部だけではありますが、実装されていて、アプリのサブディレクトリにXMLを保存します。





#### Why Wish

やりたいこと順番に、機能の設定する 説明を並べていく予定です。 ・加筆中

#### **Now And Then**

今後実装可能な範囲で予定を記載しています。

・加筆中